

パソコンから教室新聞

Windows 10が発売されて早4年が経とうとしています。それ以前のパソコンを今でもお使いではないでしょうか。そろそろ買い替えときなのではないでしょうか。

最新のバージョンは？

WindowsのOSは、バージョンアップとアップデートを繰り返して、今に至っています。

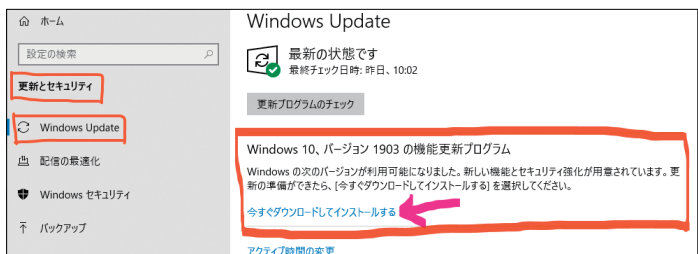
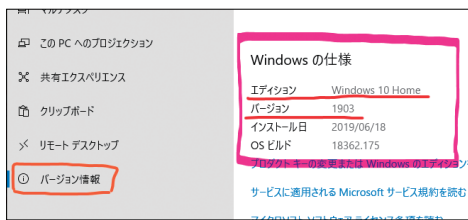
現段階での最新バージョンは、「Windows 10 バージョン 1903」です。年2回、春と秋に行われる大型アップデートを行うことで、バージョンが繰り上がっていきます。

(1903の前は1809でした)確認は「設定」・「システム」の「バージョン情報」で行えます。

その間行われる通常のアップデートは自動で行われる設定になっています。

(時々表示される「更新しています、電源を切らないでください」というアレです。これが行われると「OSビルド」の数字が上

がっていきます)



最新のアップデート「1903」は自動では行われないようですので、手動で行う必要があります。「設定」の「更新とセキュリティ」を確認し、更新可能であれば更新の案内が表示されます。(それまでの最新のアップデートを適用しておく必要があります。)

OSのサポート期限

OSにはそれぞれサポート期間が設けられており、バージョン1903は「20年5月12日」までです。それまでに行われるアップデートを繰り返すことで、保守期間も延長されます。

同じ10でもバージョンの違いで保守期間も異なります。1709ではもう終了しています。(早急なアップデートが必要です)

8.1はまだ期限まで期間がありますが、7はもうすぐ保守期間が訪れます。

バージョン	保守期限
Windows7	20年1月14日
Windows8	16年1月12日
Windows8.1	23年1月10日
Windows10 Ver1709	19年4月9日
Windows10 Ver1903	20年12月8日

古いOSのパソコンは使える？

保守期限が過ぎたOSはどうなってしまうのでしょうか。決して使えるわけではありません。では、何が問題なのでしょう。

それは、OSの更新が行われなくなることです。新しい機能が追加されない他、セキュリティ上の問題があったとしても、その更新は行われません。ウイルス感染等の危険が増すことになります。使い続けるのは不安ですね。対処としては2つでしょう。

1つはパソコンを買い換える対応です。新しいWindows 10のOSになるばかりか、機械そのものが新しくなりますので、今より格段に使いやすくなるでしょう。

もう一つは今のパソコンのOSをバージョンアップする方法です。これだと費用もかかりません。問題はパソコンのメーカーが、その機種のバージョンアップを保証しているかどうかです。(メーカーのサイトから確認できます)保証されていれば問題ありませんが、そうでない場合、機械の機能が追いつかず、動きが鈍くなってしまうたり動かなくなるソフトがあるなど、全てが保証されるわけではありません。

また、使っているプリンタなどが10に対応していなかったりします。(対応していないと動きません)

が、どちらにしても、後半年ほどで保守切れになるのは確かです。どの方法でも10のパソコンを使うしかなさそうです。

7や8からの10へのアップグレードは、マイクrosoftのサイトを通じて行えます。



教室のWebページは左記アドレスから、スマホ・携帯からは、QRコードからどうぞ。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>



See you next month